

鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）  
に基づく取り組み評価概要報告書  
【令和6年度評価結果】

〈目次〉

|                  |          |
|------------------|----------|
| 1 評価の目的          | P 1      |
| 2 評価の方法          | P 1      |
| 3 評価結果の概要        | P 1      |
| (1) 実現方策の評価結果    | P 1 ~P 4 |
| (2) 投資・財源計画の評価結果 | P 4 ~P 5 |
| 4 総括             | P 5      |

令和7年8月  
鹿屋市上下水道部  
業務課・工務課

## 1 評価の目的

平成30年度に策定した鹿屋市水道事業の中長期的な経営の基本計画である「鹿屋市水道事業ビジョン(経営戦略)」の実施状況の評価を行い、その結果を予算編成や事業計画に反映させることにより、継続的な経営改善を図る。

## 2 評価の方法

上下水道部の業務課・工務課による自己評価として、担当係が「実現方策の進捗度」及び「投資・財政計画の健全度」について1次評価を行った後、次に係長級以上の職員で構成する「鹿屋市水道事業ビジョン(経営戦略)内部評価会議」が、1次評価の内容が適当であるかを総合的な視点から判断する2次評価を行い、最終的な評価を決定するものである。

### (1) 実現方策の評価(74項目)

取り組み内容から現状を分析し、その進捗状況を「完了」、「A：順調」、「B：概ね順調」、「C：遅れている」、「D：その他」の5段階に評価する。

その結果を受けて、今後の取り組みの方向性を「1：拡充」、「2：維持」、「3：改善」、「4：縮小」、「5：廃止」で示す。

### (2) 投資・財政計画の評価(収益的収支・資本的収支・補てん財源・資金残高等)

実績値と計画値を比較し、差が生じている場合にはその原因を分析する。

## 3 評価結果の概要

### (1) 実現方策の評価結果(74項目)

| 基本目標 | 施策方針                        | 評価項目数 |
|------|-----------------------------|-------|
| 持続   | 組織体制の強化、健全経営の確保、官民連携の推進など   | 30    |
| 安全   | 良質な水源の確保、水源水質の保全、浄水施設の整備など  | 15    |
| 強靱   | 適切な水道施設の更新、管路の耐震化、応急給水の強化など | 29    |

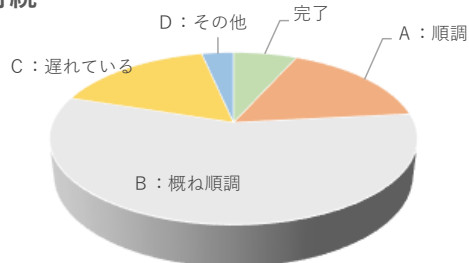
### ア 「進捗状況」の評価結果(基本目標ごと)

#### 【持続】

| 評価分類    | 令和5年度 |         | 令和6年度 |         |
|---------|-------|---------|-------|---------|
|         | 項目数   | 割合      | 項目数   | 割合      |
| 完了      | 2項目   | 6.67%   | 2項目   | 6.67%   |
| A：順調    | 5項目   | 16.67%  | 5項目   | 16.67%  |
| B：概ね順調  | 17項目  | 56.66%  | 17項目  | 56.66%  |
| C：遅れている | 5項目   | 16.67%  | 5項目   | 16.67%  |
| D：その他   | 1項目   | 3.33%   | 1項目   | 3.33%   |
| 計       | 30項目  | 100.00% | 30項目  | 100.00% |

※個々の値の集計が100%にならないため、B:概ね順調で調整を行う。

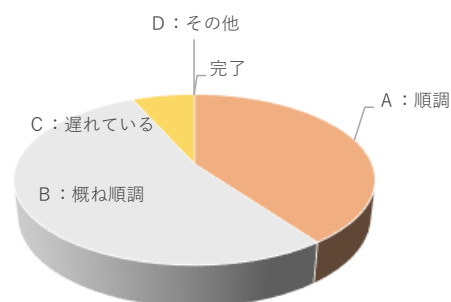
#### 持続



### 【安全】

| 評価分類    | 令和5年度 |         | 令和6年度 |         |
|---------|-------|---------|-------|---------|
|         | 項目数   | 割合      | 項目数   | 割合      |
| 完了      | 0項目   | 0.00%   | 0項目   | 0.00%   |
| A：順調    | 5項目   | 33.33%  | 6項目   | 40.00%  |
| B：概ね順調  | 5項目   | 33.33%  | 8項目   | 53.33%  |
| C：遅れている | 5項目   | 33.33%  | 1項目   | 6.67%   |
| D：その他   | 0項目   | 0.01%   | 0項目   | 0.00%   |
| 計       | 15項目  | 100.00% | 15項目  | 100.00% |

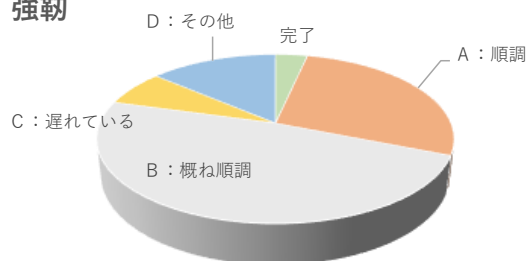
### 安全



### 【強靱】

| 評価分類    | 令和5年度 |         | 令和6年度 |         |
|---------|-------|---------|-------|---------|
|         | 項目数   | 割合      | 項目数   | 割合      |
| 完了      | 1項目   | 3.45%   | 1項目   | 3.45%   |
| A：順調    | 8項目   | 27.59%  | 8項目   | 27.59%  |
| B：概ね順調  | 10項目  | 34.48%  | 14項目  | 48.27%  |
| C：遅れている | 6項目   | 20.69%  | 2項目   | 6.90%   |
| D：その他   | 4項目   | 13.79%  | 4項目   | 13.79%  |
| 計       | 29項目  | 100.00% | 29項目  | 100.00% |

### 強靱



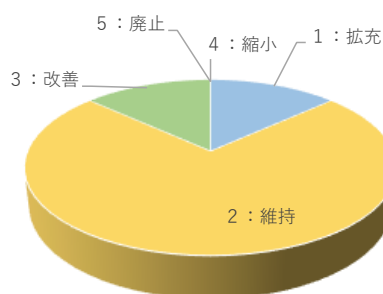
※個々の値の集計が100%にならないため、B:概ね順調で調整を行う。

## イ 「今後の方向性」の評価結果(基本目標ごと)

### 【持続】

| 評価分類 | 令和5年度 |         | 令和6年度 |         |
|------|-------|---------|-------|---------|
|      | 項目数   | 割合      | 項目数   | 割合      |
| 1：拡充 | 4項目   | 13.33%  | 4項目   | 13.33%  |
| 2：維持 | 20項目  | 66.67%  | 22項目  | 73.34%  |
| 3：改善 | 6項目   | 20.00%  | 4項目   | 13.33%  |
| 4：縮小 | 0項目   | 0.00%   | 0項目   | 0.00%   |
| 5：廃止 | 0項目   | 0.00%   | 0項目   | 0.00%   |
| 計    | 30項目  | 100.00% | 30項目  | 100.00% |

### 持続

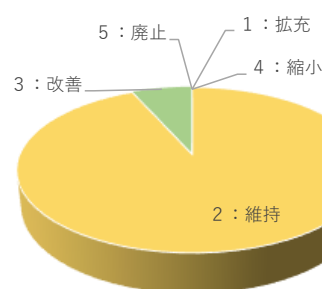


※個々の値の集計が100%にならないため、2:維持で調整を行う。

### 【安全】

| 評価分類 | 令和5年度 |         | 令和6年度 |         |
|------|-------|---------|-------|---------|
|      | 項目数   | 割合      | 項目数   | 割合      |
| 1：拡充 | 0項目   | 0.00%   | 0項目   | 0.00%   |
| 2：維持 | 9項目   | 60.00%  | 14項目  | 93.33%  |
| 3：改善 | 6項目   | 40.00%  | 1項目   | 6.67%   |
| 4：縮小 | 0項目   | 0.00%   | 0項目   | 0.00%   |
| 5：廃止 | 0項目   | 0.00%   | 0項目   | 0.00%   |
| 計    | 15項目  | 100.00% | 15項目  | 100.00% |

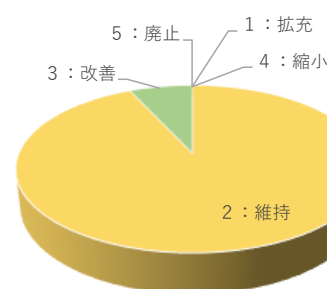
### 安全



### 【強靱】

| 評価分類 | 令和5年度 |         | 令和6年度 |         |
|------|-------|---------|-------|---------|
|      | 項目数   | 割合      | 項目数   | 割合      |
| 1：拡充 | 0項目   | 0.00%   | 0項目   | 0.00%   |
| 2：維持 | 19項目  | 65.52%  | 27項目  | 93.10%  |
| 3：改善 | 10項目  | 34.48%  | 2項目   | 6.90%   |
| 4：縮小 | 0項目   | 0.00%   | 0項目   | 0.00%   |
| 5：廃止 | 0項目   | 0.00%   | 0項目   | 0.00%   |
| 計    | 29項目  | 100.00% | 29項目  | 100.00% |

### 強靱



## ウ 主な各種指標の進捗状況

| 番号 | 各種指標       | 令和5年度実績 | 令和6年度実績 | 令和10年度目標 | 進捗率     |
|----|------------|---------|---------|----------|---------|
| 1  | 営業収支比率     | 105.40% | 114.66% | 119.40%  | 96.03%  |
| 2  | 経常収支比率     | 110.65% | 117.44% | 121.10%  | 96.98%  |
| 3  | 料金回収率      | 102.32% | 112.33% | 116.70%  | 96.26%  |
| 4  | 有収率        | 80.15%  | 80.86%  | 84.40%   | 95.81%  |
| 5  | 管路の更新率     | 0.18%   | 0.28%   | 0.74%    | 37.84%  |
| 6  | 施設利用率      | 79.18%  | 79.06%  | 74.4%    | 106.26% |
| 7  | 一人一日平均配水量  | 365.95ℓ | 365.77ℓ | 325.00ℓ  | 112.55% |
| 8  | 配水池の耐震化率   | 55.20%  | 55.20%  | 61.00%   | 90.49%  |
| 9  | 基幹管路の耐震適合率 | 61.40%  | 61.57%  | 68.40%   | 90.01%  |

## エ 主なもの

| 基本目標 | 具体的施策                                      | 今後の方向性                                            |
|------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 持続   | ①経営マネジメント力強化のための組織体制の検討                    | ●総務省のアドバイザー派遣事業の活用による、経営・財政マネジメント力の向上             |
|      | ②災害時における給水体制等の強化                           | ●給水袋の計画的な購入<br>●職員研修の実施（応急給水活動等）                  |
|      | ③専門性が求められる技術者や経理事務職員の確保・育成                 | ●電気技師及び土木技師の配置に係る関係課との継続協議                        |
|      | ④人材育成のための人事サイクルの実施（再任用制度による熟練職員の確保）        | ●定年延長及び暫定再任用制度による技術と知識の継承                         |
|      | ⑤近隣自治体間の情報交換や研修会等の共同開催                     | ●肝属地区水道協議会での研修会及び研修視察の充実                          |
|      | ⑥収支均衡した中長期的な投資・財政計画（経営戦略）の策定とその計画に基づいた健全経営 | ●改定後の経営戦略について、社会情勢の変化や計画の進捗状況に対応するため、3年から5年以内の見直し |
|      | ⑦施設台帳の整備と管路情報システムの制度の見直し                   | ●水道施設台帳、管路情報システムへのデータ登録、更新<br>●水道メーター位置の座標情報入力    |
|      | ⑧省エネ機器の導入                                  | ●機器更新時のインバーターポンプや高効率ポンプ等の導入                       |

|    |                                        |                                                             |
|----|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 安全 | ⑨水源の適切な維持管理と計画的な施設の更新                  | ●施設規模適正化計画【改訂版】に基づく更新工事                                     |
|    | ⑩予備力確保、水質悪化、取水量減少、施設統合等に対応した良質な水源開発の実施 | ●吾平、新栄地区の新規水源開発について、学識経験者の「意見に基づき調査を進める                     |
|    | ⑪指定給水装置工事事業者に対する資質保持等に必要な情報の提供等の実施     | ●更新申請時の資質の向上及び保持に関する助言、指導                                   |
| 強靱 | ⑫漏水調査など適切な維持管理による有収率の向上                | ●衛星を活用した漏水調査に伴う二次調査の実施（POI 再調査）                             |
|    | ⑬断水被害対策等のための配水ブロック化による水運用管理の検討         | ●配水ブロック化計画により、適正な規模の配水区域を設定する                               |
|    | ⑭水道危機管理対策マニュアルの見直し、事業継続計画（BCP）の策定      | ●危機管理対策マニュアル（令和5年度改定）、事業継続計画（令和2年策定）は状況に応じ、適宜内容を改訂          |
|    | ⑮水道施設のセキュリティ対策                         | ●老朽化した防護フェンス等の更新                                            |
|    | ⑯各種メディアを活用した効果的な災害商法の提供                | ●気温低下時の水道管の凍結・破裂防止のチラシ配布、行政放送及び漏水発生箇所の情報提供依頼等、災害に関する情報提供を継続 |

## (2) 投資・財政計画の評価結果(令和6年度決算)

### ア 収益的収支

- ① 収入について、給水収益が、給水戸数の増加等で対計画比 71,764 千円の増となり、その他営業外収益も、補償工事の増等で対計画比 19,186 千円の増となる等、合計での対計画比は 94,163 千円の増であった。
- ② 支出について、職員給与費は、人事異動等の関係で対計画比 54,451 千円の減となったものの、委託料が、労務単価の上昇等で対計画比 69,929 千円の増、修繕費が、漏水修繕工事増で対計画比 39,522 千円の増、減価償却費が、施設更新及び物価高騰の影響で対計画比 37,211 千円の増となる等、合計での対計画比は 117,135 千円の増であった。
- ③ 当年度純利益について、①と②の収支の結果、対計画比は 22,972 千円の減であった。

### イ 資本的収支

- ① 収入について、工事に伴う負担金の増等で、対計画比は 9,670 千円の増であった。
- ② 支出について、職員給与費は、人事異動等の関係で対計画比 20,036 千円の減となったものの、委託料が、馬掛ポンプ場実施設計業務委託等で、対計画比 43,377 千円の増となったこと等、合計での対計画比は 35,641 千円の増であった。
- ③ 不足額については、①と②の収支の結果、対計画比は 25,971 千円の増であった。

#### ウ 評価結果

物価高騰等の影響等で、収益的収支及び資本的収支は、計画より減少した。資金残高が対計画比 530,461 千円増であり、事業収益に対する資金残高率は対計画比 23.9 ポイントの増であるものの、これは、前年度からの繰越額が計画より大きいためであり、今後、損益は悪化し、資金も減少傾向になることを想定している。

#### 4 総括

「進捗状況と課題」では、技術の継承、適正な料金体制の検討及び水源周辺の用地取得等、課題のある施策もあるが、水道出前教室や広報活動による情報提供、中央監視制御による維持管理、水安全計画に基づく水質管理体制の強化等の施策評価で、「完了」、「A：順調」及び「B：概ね順調」の合計割合が 82.43%を占めることから、概ね計画どおりに進んでいると判断する。

また、「今後の方向性」では、「1：拡充」及び「2：維持」の合計割合が 90.54%を占めておりますが、令和 6 年度に改定した「水道事業ビジョン（経営戦略）改訂版」と「施設規模適正化計画【改訂版】」に基づき、更なる効率化と革新性を追求し、多様な社会変動にも柔軟に対応できる持続可能な経営体制構築へ向けて一層努力していく必要があります。